

<p>第22号 平成22年8月</p>	<p>もう一つの道</p> <p>情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市出水4 - 25 - 1 096-364-7611 http://yamadasu.com/ E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp</p>
-------------------------	--	--

なぜ沼田医師は薬を使い、手術をして、且つ生体ミネラル水や脳幹賦活法等で病気を治すのか

それは沼田光生医師のポリシーが「いいとこ取りの医療」だからです。沼田医師の考えは次のとおりです。『医者究極の目的は、一人ひとりの患者さんの人生において最後の最後まで健康を守り、維持するのが仕事である。したがって、患者さんを治すためならそこには西洋医学だとか東洋医学などの区別は必要ない。』

生体ミネラル水とは何か。

市販のミネラルウォーターには水溶性のミネラル(カルシウム、マグネシウム、ナトリウム等)が入っていますが、水に溶けにくいミネラル(微量元素であるチタン、バナジウム、コバルト、ゲルマニウム、白金等)は入っていません。生体ミネラル水とは天然の鉱石を溶解し微量元素ミネラルをイオン化した溶液です。

なぜ生体ミネラル水が有効なのか。

そのメカニズムはまだ解明されていません。

ヒント1．地球の生命体は太陽と水とミネラルで始まった。

地球の最初はドロドロ溶けた灼熱の鉱物の塊りであった。次に雲が生じて雨となり硫酸の海ができた。その後、火山活動によって豊富な鉱物ミネラルが海の中に溶けこみ太陽による光合成と水の希釈によって酸素が発生、そして無生物の中から原始の生物が誕生した。原始の微小生命体が進化して現在の全ての生物に繋がっている。

ヒント2．生物の特徴とミネラルの関係

生物の二大特徴とは自己複製と物質代謝であり、この二つの特徴があれば「物」ではなく「生物」とみなされる。特に物質交代に関してミネラルは重要な役割を果たしており、物質交代の際に中心的な役割を果たすのが、酵素である。酵素は生体内に存在するタンパク質性の触媒である。触媒とは他の物を化学反応させるものである。酵素のほとんどは、金属ミネラル元素によって活動する。エネルギー代謝で説明すると細胞は栄養素、有機化合物によって細胞呼吸をし、アデノシン三リン酸という科学エネルギーを作り出す。更にそれを酵素が分解する際に発生するエネルギーが細胞の活動に使われ

る。つまり、いくらエネルギーの素があっても、酵素の働きが活発でなければ細胞の活動源であるエネルギーは得られないことになる。エネルギーを発生させるために酵素は1秒間に一万回以上振動する。その原動力が微量元素ミネラルである。

ヒント3．現代の農業が微量ミネラルを減少させた。

昔の農業は循環型で、土からミネラルを作物が吸収、人間が食し、それを排泄して土に還したためミネラルは一定であった。戦後人工肥料(17元素)の使用により循環がくずれた。現在の作物のミネラル含有量(約110元素)は昔の数分の一、十数分の一以下となっている。

ヒント4．キレート反応

キレートとはギリシャ語で蟹の爪という意味。分子は原子から構成される物質で、原子は太陽をとり巻く惑星の様な立体構造をしている。その原子との隙間に、まるで蟹の爪のように金属元素ミネラルを挟み込む現象のこと。調和の取れた複合ミネラルは、調和を乱す農薬や化学物質を蟹の爪のように結合することで、結果として無毒化して排出。驚くべき統計がある。日本人一人当たり、年間農薬摂取量は、約4kg、食品添加物も、約4kgを摂取(S.58統計)。問題は2つある。一つは多量の有害物質を体に入れていること。もう一つは、身体の中の有用微量元素ミネラルが有害物質をキレート反応で排出するため減少し、その分他の働きができなくなってしまうこと。冷凍食品や加工食品などには大量の食品添加物が使われているので要注意である。

ま と め

全ての生物は複合ミネラルを生命の核として誕生し、その働きは遺伝子の中で生きつづけ生命活動を維持してきました。しかし、現代の農業でミネラルが激減し、又農薬や食品添加物のためミネラルが消費され、益々体内ミネラルが減少して、結果としては昔なかった花粉症などたくさんの病気やキレル若者が増加しています。微量ミネラルの不足が現代病の原因の一つであると考えられますので、生体ミネラル水で有用微量元素ミネラルを十分に補給することが重要と思われ、それが、沼田医師が治療の一つとしてとり入れている理由だと思えます。

あ と が き

実は13年前ある講習会でこのミネラル水療法に出会ったのですが、水で癌が治る訳がないと放っておきました。3年前、縁があってこの療法と再会しました。10年の間に実績を重ね多数の症例が出ていました。それで改めて調べ直し、報告する価値があると判断し今回紹介致しました。